

連合神奈川 第1回行財政政策委員会

日時 2024年 3月12日(木) 15:00~16:55

場所 連合神奈川会議室・WEB併用

- 内容 ①委員の確認、および調整委員の選出について
②「2025年度に向けた政策・制度要求と提言」の進め方について
③「2024年度に向けた政策・制度要求と提言」回答について
④2024年度「2025年度に向けた政策・制度要求と提言」における重点政策について

議事概要

- ①行財政委員会の委員長は自動車総連の高橋氏、副委員長 UA ゼンセンの保田氏、主査は連合神奈川の萩原氏を確認し、当日参加した各委員が自己紹介を行い、調整委員には自動車総連の佐俣氏、情報労連の小関氏が確認された。
- ②第3回まで委員会の開催を考えているが、次回の委員会でまとめることもできる。本日協議をした内容を取りまとめ、メールにて意見集約を行い、特段招集しなくても良ければ第2回を5月のゴールデンウィーク明けとし開催することが確認された。
- ③行政からの回答は、どの項目とも「要求に対し、取り組みが進められているが、解決に向けた更なる努力を求める(成果は見えていない)」ものであり、2025年度に向け再要求することが確認された。
- ④2024年度重点政策を加筆訂正して整理することとなった。

重点政策に対する意見等

- ・シニア連合の加藤氏から若者はとにかくスマホを利用しており、選挙に関わる事柄をスマホで出来るようにすれば良いとの意見。江東区長の件を黒ではなく白にしていく法律が必要ではないのか。
- ・森横浜市議会議員から、特別市のあり方の検討に際しては、「県民全体の参加と合意形成」ではなく、「国と県と市の参加と合意形成」にした方が良いのではとの意見が出された。
- ・松崎県議会議員から、税収の偏在を東京一極から是正しなければ、東京と同様な政策は取り組むことが困難である。高校の無償化や毎月5,000円のバラマキなど神奈川県での財政では出来ないとのこと。
- ・シニア連合の加藤氏からスーパーのショッピングカートは小さいものでも高齢者には背が高く、カートからレジへかごを移動させることが難しい。有人のレジであれば手伝ってくれる人もいるが、今後セルフレジが発展していくことが想定されるので、ショッピングカートを高齢者向けに用意してほしいと要望があった。

次回第2回委員会は、5月の開催予定

報告者 高橋和彦